

工事監理・施工状況報告書

検査機関名: 御中

申請者	氏名	
	住所	電話 ()
工事監理者	事務所名	級建築士事務所() 登録第 号
	資格・氏名	級建築士(大臣・知事)第 号
	所在地	電話 ()

(工事監理者がいない場合は、工事施工者が記名してください。)
(申請者が工事監理者と同じの場合は工事監理者欄の記名は不要です。)

私は、フラット35の竣工済特例を申請するに当たり、次の施工内容が設計図書等のとおりであることを報告します。

建物の名称			
建築場所			
確認済年月日・番号		(元号) 年 月 日	・(番号)
検査済年月日・番号		(元号) 年 月 日	・(番号)
工事概要	床面積	m ²	敷地面積 m ²
	構造	☐ 木造 ☐ 準耐火 ☐ 耐火	階数 地上 階 地下 階
	戸建型式	☐ 一戸建て ☐ 連続建て ☐ 重ね建て	工法 ☐ 在来木造 ☐ 枠組壁工法 ☐ その他
	フラット35Sの希望	☐ 有 有の場合は、フラット35S用の「工事監理・施工状況報告書」を添付すること。ただし、省エネルギー性(※1)、耐久性・可変性(金利Aプラン)及びバリアフリー性の場合は不要です。 ☐ 無	

項目		施工内容	写真の有無	適合証明検査機関確認欄
共通	断熱工事	屋根・天井(種類 厚さ mm) 壁(種類 厚さ mm) 床(種類 厚さ mm) 防湿層()	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	土台(木造の場合)	樹種又は薬剤処理()	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
木造(耐久性)	床下防湿	☐ 厚さ()cmのコンクリート ☐ 厚さ()mmの防湿フィルム	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	木部の防腐・防蟻措置	外壁の軸組(下地材を含む)のうち、地面から1m以内の部分 ☐ 耐久性の高い樹種() ☐ 薬剤処理 ☐ 外壁通気層構造 ☐ その他()	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	基礎内周部の地盤の防蟻措置	☐ 防蟻措置が不要な地域(※2) ☐ 鉄筋コンクリート造のべた基礎 ☐ コンクリートが基礎内周部等に打設 ☐ 土壌処理	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	浴室等の防水措置	(浴室) ☐ 浴室ユニット ☐ その他() (脱衣室) ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ その他()	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
準耐火構造・耐火構造(※3)	屋根の裏側・屋根直下の天井	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	天井	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	梁	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	外壁	(室内側 防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
		(屋外側 防火被覆材の種類 厚さ mm)		
	軒裏	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	内壁	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	柱	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	床	(防火被覆材の種類 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
	階段	(仕様 厚さ mm)	☐ 有	☐ 適 ☐ 不適
その他			☐ 有	☐ 適 ☐ 不適

注) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

※1 「認定低炭素住宅であることを証する書類」、「性能向上計画認定住宅であることを証する書類」又は「札幌版次世代住宅であることを証する書類」を提出する場合に限ります。

※2 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、富山県、石川県及び福井県

※3 準耐火構造・耐火構造の場合は対象事項に限り記入してください。